

# あじさい



## 支部長あいさつ

早春のみぎり、札幌第2支部会員の皆様におかれましては、ますますご活躍のこととお慶び申し上げます。支部長の任につき1年がたちました。右も左もわからない中、ここまで無事に事業を進められたのは、一重に会員の皆様のご協力によるものと深く感謝申し上げます。

今後ますます在宅医療が進められます。そのためには、ケアの中心の役割を担う私たち看護師の顔の見える関係が大切であると思います。第2支部は4,742名もの多くの会員を有する支部ではございますが、あらゆる機会を通して交流が進む場を作っていきたいと考えております。

さて、平成30年度の札幌第2支部は、例年開催している「看護の日」の健康相談を皮切りに活動がスタートします。会場はイトーヨーカドー琴似店トライアングル広場で行います。毎年この日を楽しみにされている常連さんもいるようで、地域住民の健康づくりの一助になればと願っております。

また今年度は、昨年好評だった「施設間交流研修」を継続します。この研修は支部内の他の施設の研修に参加するもので、働き続けられる職場づくり推進委員会による活動です。昨年参加された方より、自施設では学べないことを学習できたという声が多くありました。研修案内の方法など工夫を必要とする点はございますが、地域の交流にもつながるよい機会となりますので、今年も多く施設の参加をお待ちしております。

次に、今年度より札幌第2支部では災害時の看護支援活動に関する研修を計画しております。災害が多発する昨今、災害看護の重要性は



田中いずみ 支部長

高まっています。災害看護は、他の専門職と協働して、災害が及ぼす生命や健康生活への被害を極力少なくするための活動です。しかし災害看護の知識の普及は十分ではなく、その上活動の内容は、地域性に大きく影響を受けます。防災、災害時とその後の中長期的な対応などさまざまな課題がありますので、この研修を足がかりとして、札幌第2支部の地域性を踏まえた災害看護について考えたいと思います。

さらに、教育委員会では「ステップアップ看護研究」に力を入れております。大学の教員から研究の意義や研究を行うための基本的な知識を学び、実際に研究計画書をたてます。マンツーマンでの指導と数ヶ月後にフォロー研修をもうけているきめ細やかな研修であると自負しております。多くの方々のご参加をお待ちしております。

その他、保健師・助産師職能委員会は他の札幌支部と協力して、看護師職能はⅠ・Ⅱ領域と共同し、看護の質の向上につながるよう研修・事業を計画しております。

最後に会員の皆様のご健闘とご活躍を心よりお祈り申し上げますとともに、今後も支部運営にご支援、ご協力いただきますようどうぞよろしくお願いいたします。



## 副支部長あいさつ

副支部長として3期5年目を迎えることとなりました。よろしくお願いたします。

2025年を見据えた社会保障制度改革が進む中、平成30年4月の診療報酬改定は、医療・介護の同時改定となり、人生100年時代を見据えた社会の実現が求められています。地域包括ケアシステムの構築と医療機能の分化・強化、連携推進における看護職の役割発揮がますます期待されていると感じます。

『看護の心』を見失うことなく、看護職もさまざまなことに挑戦しながら変革していくことが必要と考えます。

札幌第2支部では多くの方にご参加いただけるよう、医療・看護情勢に即した内容で研修を企画していきたいと考えています。今年度も魅力ある支部運営に努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



菅原ひろみ  
副支部長



本山博恵  
副支部長

こんにちは。平成30年度4年目の札幌第2支部副支部長を務めることになりました、札幌外科記念病院 看護部の本山博恵と申します。

新年度より新たな取り組みとして災害支援に関する支部活動が予定されています。地域における災害看護の充実のために会員の皆さまとともに課題解決につながる活動の展開できればと考えておりますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

3年間の支部活動の経験を活かし、会員の皆さまの期待に応えられるよう支部長をはじめ、役員、委員の皆さまと協力しながら役割を務めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### 札幌4支部合同 保健師職能研修会 平成29年10月21日(土)

平成29年10月21日(土)に北海道ダルク代表:森亨様を講師に迎え「依存症との闘い～今日も1日頑張れた!～」を開催しました。参加人数88名で、「日ごろ接している患者さんの思いを深めたい」と精神科看護師さんが多く参加されていました。講師の森様は、どうして自分が薬物依存症になったかについて、誕生からこれまでの人生を振り返り、家族との関係性の中で生まれた孤独感や、人との付き合いで弱さを見せることが出来ない自分がい

たこと、自分の在り方で多くの人を傷つけてきたことなどを率直に話されました。また沢山の人たち、仲間に分けられ、支えられて生きていた自分を知り、その感謝の思いが今日1日薬物を使わず生活できていることにつながっていることもお話しされていました。穏やかな雰囲気の中で研修会は終了し、参加者は依存症患者への理解や知識を新たにし、「心をつめる良い研修会だった。」との声が多くあがっていました。



## 札幌第2支部 医療安全交流会 平成29年10月28日(土)

平成29年10月28日(土)に医療安全交流会を開催し、薬剤師2名を含む51名の参加がありました。今年度は、地域のネットワークや情報共有を通して現場の医療安全課題の解決につなげることを目的に、札幌第2支部の3施設から実践報告発表をしていただき、その後7グループに分かれ交流会を開催しています。

今年度のテーマを『患者誤認防止対策～施設での取り組み～』とし、身近な課題に焦点を絞り、手稲家庭医療クリニック・札幌秀友会病院・NTT 東日本札幌病院の医療安全管理に携わっている3名の方から実践報告していただきました。各施設での患者誤認防止対策・インシデントの現状・スタッフ対象とした事故防止に関する意識聞き取り調査と分析結果などの報告があり、今後の課

題なども具体的に聞く機会となりました。研修後のアンケート結果からも、今後に役立つ満足度の高い発表であることがわかりました。

実践報告後の交流会では、患者誤認防止だけでなく、様々な医療安全対策の課題について活発な意見交換が行われました。時間が短いと感じた参加者も複数おり、有意義な時間を共有することができました。

最後には、参加者の方から札幌第2支部内外の医療安全管理者ネットワークのミーティングの紹介などもあり、参加者同士の交流がより深まったのではないかと感じました。

アンケートの結果から、次年度に向けてより活発な医療安全交流会の企画を検討したいと思います。



交流会の様子



3名の発表者

### 看護協会入会のご案内

- ◆ 日本看護協会は、約71万人が会員となり、人々に質の高い看護サービスを提供するため、看護職の資質の向上と、社会的な地位の向上を目指しています。
- ◆ 安心して看護職が働き続けられる職場づくりを目指し、看護の現場・行政・看護協会が協働し、夜勤や時間外などの労働条件や、労働環境の改善につながるよう取り組んでいます。
- ◆ 入会の詳細は、北海道看護協会HPをご覧ください。



### 《 編集後記 》

2018年も早くも2月ですが、寒い日が続く、皆様体調は大丈夫でしょうか。広報委員を2年間活動させて頂きありがとうございました。活動の中で地域の方々より、「健康相談に毎年来てるよ!」という声をかけて頂き、支部活動が地域に受け入れられている喜びを感じました。ニュースでは日々、災害・事件・事故・いじめ・老々介護など社会問題が山積みしていますが、弱い立場の方々の力になれる看護師でいたいと思います。

広報出版委員 M・H

